

第1回西脇市立西脇小学校保存活用計画策定会議 会議録

開催日時	令和4年9月1日(木) 午後3時～午後4時30分
開催場所	西脇小学校 集会室
出席委員の名前又は人数	10人
欠席委員の名前又は人数	0人
出席職員の職・名前又は人数	4人
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	2人
議題又は協議事項	(1) 正副会長の選任について (2) 保存活用計画・策定会議について (3) 策定スケジュールについて (4) 保存活用計画の所轄について
会議の記録(概要)	
発言者	<p>○校舎見学</p> <p>○開会</p> <p>○委員委嘱 ・教育長から委員に委嘱状を交付</p> <p>○教育長あいさつ この計画は、木造校舎の文化財としての価値を今後も維持しながら、現役の教育施設として活用していくため、また、文化財としての価値を後世に残すための指針として策定するものである。委員の皆様には、2年間、様々な視点から積極かつ、忌たんのないご意見等をお願いしたい。</p> <p>○委員紹介 ・委員による自己紹介 ・委員10名中10名出席により会議成立の報告</p> <p>○会議概要説明 ・資料2・3に基づき説明</p> <p>○協議等</p>

事務局	<p>(1) <b>正副会長の選任について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事務局提案により、会長は足立裕司委員、副会長は佐野允彦委員にお願いしたい。異議がないようであれば、拍手でご承認願いたい。 (委員一同拍手をもって承認)</li> </ul>
会長	あいさつ
副会長	あいさつ
事務局	<p>(2) <b>保存活用計画の概要について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料4に基づき説明</li> </ul>
会長	<p>維持管理のための取り扱い説明のようなものである。また、改修に必要な予算の今後の見通しを文化庁で把握してもらうためのものでもある。寺社の使用者は限定されるので想定が比較的簡単だが、小学校の使用者は主に児童であるため想定が難しい。実用的な建物なので各所が痛んでくるため、適切に計画することが重要である。傷つけてもよい箇所、傷つけてはいけない箇所を含めた使い方を決めておき、先生方に認識してもらおう。修理計画については、破損個所の改修の際にその都度手続きすることは大変なので、許可を受けずに更新・改修可能な範囲を設定したい。使用者にもある程度の責任が生じる。文化庁の規範に沿った使い方が必要となる。</p> <p>基本的な考え方としては、子どもたちを優先する。現在は1教室の定員が35人だが、今後の人口動態や国・県・市の方針により変化する可能性も考慮する。チャレンジ学級の児童への対応にも配慮する必要がある。</p> <p>活用計画（学校以外の使い方）についても取り決める。管理計画と活用計画は裏表のようなものである。防災、避難などの際の校舎利用についても計画する。</p>
事務局	<p>(3) <b>策定スケジュールについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料5に基づき説明</li> </ul>
会長	<p>策定会議ごとに中心となるテーマを設定して協議する。各策定会議の間に、小さなグループで行う部会も行う。協議内容により参加者を決める。</p>
事務局	<p>(4) <b>保存活用計画の所轄について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料6に基づき説明</li> <li>※意見等なし</li> </ul> <p>○その他</p>

委員	画鋸以外の、部材を傷めない方法であれば掲示してもよいか。
会長	よい。協議の上で掲示方法を決定したい。
委員	空調機器への風除けの設置等は必要に応じて行ってもよいか。
会長	美観上問題なければよい。各自の主観ではなく、学校側の実際の状況をヒアリングした上で決定する。今後、市の商工観光課が西小関連で行う企画について、実行可能な範囲を決めたい。
委員	小学校としての普段の活動を優先した上で、活用方法があれば検討したい。
委員	日常的に建具の破損等が起こっている。情報交換をしっかりと行っていきたい。
会長	使い方を決めつけ過ぎないようにしたいので、その都度学校の状況を教えていただき、計画に反映したい。できるだけ客観的かつ正しい対処方法を検討したい。
会長	記念室の活用方法についてはこれから市民が中心となって協議していく必要があると思う。
事務局	委員の方々の意見を尊重しながら決定していきたい。
会長	2階建て渡り廊下については、文化財の指定範囲に含まれていない。老朽化の際の改修を計画に含む場合、建物の運用上必要であるという説明が必要となる。
会長	次回の策定会議は11月初旬の予定。
	○ 閉会